

本図は戸先錠シリンダー付を示す。戸先錠シリンダー無はシリンダー及び外部化粧座のシリンダー穴がないものです。

取付手順

- ① 錠本体①をビス②で完全に固定してください。
- ② 障子の外側に外部化粧座③を、内側に内部化粧座④を押しあて、サムターン⑦が作動板⑥の穴に入るようにして、ビス⑤で軽く固定してください。
- ③ 内・外部化粧座③④をずらしながら、鍵とサムターンで作動がうまくいくところでビス⑤を完全に固定してください。

※戸先錠シリンダー付は左右どちらにも取付可能です。出入り側に応じて取付けてください。

梱包明細

シリンダー付

	名称	備考	個数
①	戸先錠ケース		1
②	錠ケース取付ビス	皿 M4×12	2
③	外部化粧座		1
④	内部化粧座	シリンダー付	1
⑤	化粧座取付ビス	皿 M4×16	2

シリンダー無

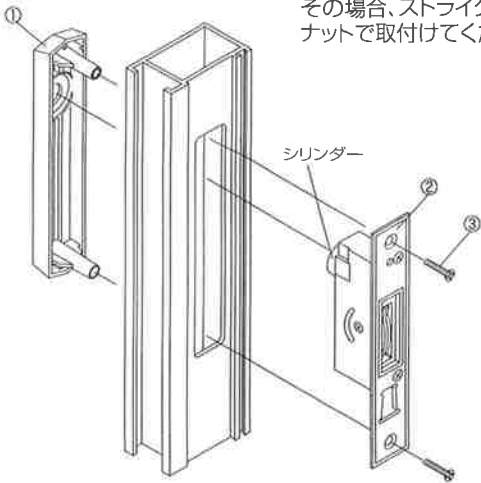
	名称	備考	個数
①	戸先錠ケース		1
②	錠ケース取付ビス	皿 M4×12	2
③	外部化粧座		1
④	内部化粧座	シリンダー無	1
⑤	化粧座取付ビス	皿 M4×16	2

玄関引戸錠取付説明書 (召合せ錠)

取説番号 838R8021

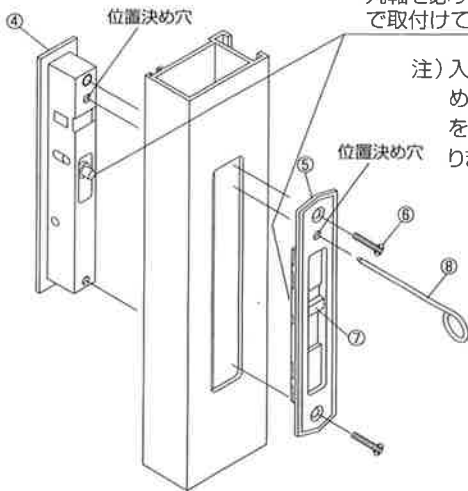
外障子側

本図は召合せ錠シリンダー付を示す。
召合せ錠シリンダー無は外部化粧座
がなく、ストライクのみになります。
その場合、ストライクは下図のターン
ナットで取付けてください。



内障子側

サムターンの角穴に錠本体の
丸軸を必ず入れてからビス⑥
で取付けてください。



注) 入れないでビスを締めつけるとツマミ⑦
を破損する恐れがあります。

取付順序

①外障子に外部ケース②のシリンダーが上になるようにして、外部化粧座①と外部ケース②をビス③で完全に固定してください。

②内障子に、内部ケース④内部化粧座⑤をビス⑥で軽く固定してください。このとき、内部ケース④と内部化粧座⑤の位置決め穴が上部になるように取付けてください。

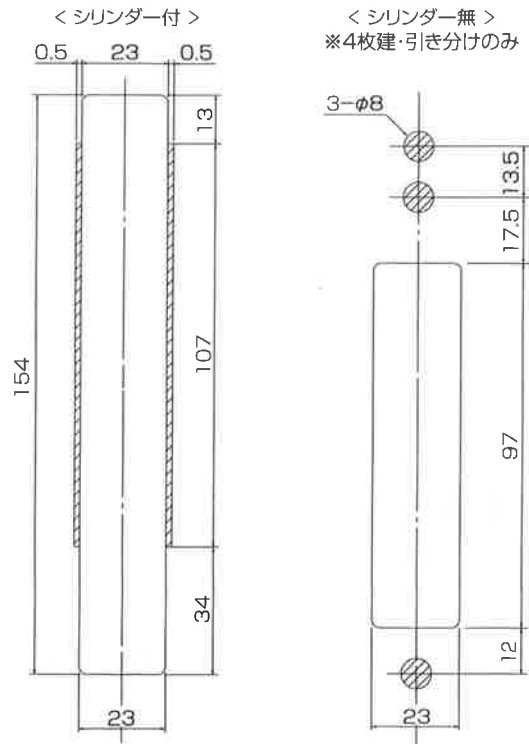
③障子をきっちりと閉め、ビス⑥をゆるめ内錠を少し持ち上げ、ツマミ⑦を下げ施錠します。セットピン⑧を外錠まで差し込んで、ビス⑥をしっかりと締めてください。

※上記方法で調整できない場合は、外障子の外部ケース②を動かし、再度調整してください。

注) 正しく芯出しをしないと、鍵による施解錠操作が重くなり、最悪の場合鍵での施解錠ができなくなるおそれがありますので、必ずセットピンで芯出しをしてください。

錠取替の場合

旧錠からの錠取替の場合は、外召合せ框に
下図斜線部の追加加工を行ってください。



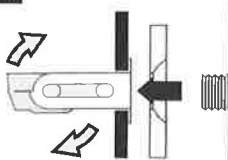
内外貫通穴

※建付けなどにより、調整しづらい場合はさらに片側のみ1mmまで加工を広げる事が可能です。

※施解錠時に鍵が型材切欠きに干渉する場合は、角穴(23×97)を下方へ広げてください。

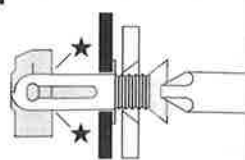
ターンナットの使用方法

1 ネジを軽く押す



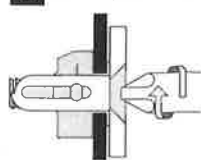
ターンナットを下穴に挿入した後にストライクをあてがい、ネジを指で差し込みます。ネジを軽く押すと、ナットが回転します。

2 ネジを一旦逆転→正転



ドライバーでネジを押しながら1~2回転させ(左回り)、そのまま2~3回正転させてネジを軽くねじ込みます。

3 続けて締め付け、完了



ネジがかみあったら、続けて締め付けます。

梱包明細

シリンダー付

名称	備考	個数
① 外部化粧座		1
② 外部ケース		1
③ 外部ケース取付ビス	皿 M4×20	2
④ 内部ケース		1
⑤ 内部化粧座		1
⑥ 内部化粧座取付ビス	皿 M4×20	2
⑦ セットピン		1
⑧ 子鍵		3

シリンダー無

名称	備考	個数
① 外部ストライク		1
② ターンナット	外部ストライク取付用	2
③ 外部ストライク取付ビス	皿 M4×20	2
④ 内部ケース		1
⑤ 内部化粧座		1
⑥ 内部化粧座取付ビス	皿 M4×20	2



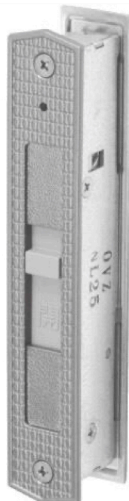
3K-18377



3K-18378



3K-18379



3K-18380